

会 議 録

1 会議名

令和6年度第1回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

（1）会長、副会長の選任について（公開）

（2）地域協議会の運営について（公開）

3 開催日時

令和6年6月4日（火）午後6時30分から午後8時25分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 青山藏吉、磯田一裕、稲川真智子、今川芳夫、鴨井辰典、小玉希実、
関澤隆一、関谷照子、田中美佳、田中 実、田中由美子、土肥 優、
沼波建太、古澤悦雄、保坂邦之、増田和昭（欠席者2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【佐藤所長】

- ・挨拶
- ・資料「地域自治区制度 地域協議会の役割等」に基づき説明

【近藤副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項により、会長が選任されるまでの間は、議長を北部まちづくりセンター所長が務めることを説明

【佐藤所長】

本日初顔合わせなので、委員の皆さんから自己紹介をしていただきたい。

- ・各委員による自己紹介

次に事務局の紹介を行う。

- ・北部まちづくりセンター職員紹介

議題【協議事項】(1) 会長副会長の選任について進める。

会長、副会長の選任については、上越市地域自治区の設置に関する条例第6条の規定により、委員の中から選任することとなっている。

この方がふさわしいと思う方がいれば、ご推薦いただきたい。また、この会をまとめていきたいと思う方は、ぜひ立候補していただきたい。

【田中美佳委員】

今まで一緒にやってきて、地域協議会で皆さんの意見をよく聞いておられたことや、直江津でいろいろな活動されていることから、私は磯田委員を推薦したいと思う。

【佐藤所長】

今、田中委員から、磯田委員の推薦があった。そのほかに、推薦、立候補など意見はあるか。

【古澤委員】

今期初めての方の中から出るというのは大変厳しいかと思うので、2期目や3期目を務められた方から選出した方がいいのではないかと思う。その中で、昨年度は磯田委員、田中美佳委員が副会長だったので、その辺から会長に上がっていただくのが妥当ではないのかと思う。

【佐藤所長】

今、古澤委員からも、磯田委員ということで推薦があった。ほかに意見がなければ、磯田委員の会長についてお諮りしたいが、よいか。

(委員同意)

磯田委員を会長ということで、よい方は挙手を願う。

(挙手多数)

では、会長は磯田委員に決定した。

これから、磯田会長と進行について打ち合わせをさせていただくので、5分程度休憩を挟んだあと再会する。しばらくお待ちいただきたい。

－ 休憩－

【佐藤所長】

引き続き会議を開催する。

先ほど磯田委員が会長に選任されたので、これ以降の進行を磯田会長にお願いします。一言ご挨拶いただいた後、進行をお願いしたい。

【磯田会長】

地域協議会は、多くの人たちの意見を拾い上げ、議論を十分に尽くして市に提言したり、地域でできることは地域で活動していくという、直江津区について考える際のキーストーンの役割を担っていると思う。自由闊達なご意見をいただきながら、より高みへ収れんしていくよう協議、議論していきたいと思っているので、よろしくをお願いしたい。

引き続き、副会長の選任を行う。

まず副会長の任務について事務局へ説明を求める。

【石崎係長】

・副会長の任務について説明

【磯田会長】

副会長の選任について、皆様のご意見をいただきたい。まず、人数については、今まで同様2名でよいか。

【今川委員】

副会長の推薦をお願いしたい。古澤委員と田中美佳委員をお願いしたい。

【増田委員】

今、推薦があったが、会長から副会長2名でよいかというお諮りがあったので、私は副会長2名でいいと思う。

【磯田会長】

今川委員少しお待ちいただいて、まず副会長の人数について、ほかに意見はあるか。

(意見なし)

では、今までどおり2名の選任とする。

改めて、今川委員から、古澤委員と田中美佳委員の推薦があったが、田中美佳委員、古澤委員、受けていただけるか。

【古澤委員】

申し訳ないが、今、いろいろな役を仰せつかっているのも、もしできる方がいらっしゃれば、どなたかにやっていただければと思う。

【磯田会長】

今、古澤委員からできれば他の方という話があった。副会長は、会長が欠席したときに会議の進行をすることになるが、田中美佳委員はやっていただけるか。

【田中美佳委員】

前回務めさせていただいた、あのような感じになるが、それでもよろしければやらせていただきたいと思う。

【磯田会長】

それでは、田中美佳委員は、前回も副会長をされていたので、筆頭副会長ということでお願いしたい。

もう1名、推薦、あるいは立候補はあるか。

【増田委員】

今、古澤委員から、できれば他の人という意見があったが、委員経験のある人からやってもらったほうがいいのではないかと思います。

古澤委員は、町内会長に加え、直江津地区町内会長協議会の会長も兼ねておられる。地域協議会は町内会長の皆さんとしっかり連携していく必要があると思うので、私は、ぜひ古澤委員をお願いしたいと思う。

【磯田会長】

古澤委員いかがか。

【古澤委員】

増田委員に言われればそうかと思うので、力不足だが、皆さんと一緒に協力しながらやるということを根本に置きながら、務めさせていただければと思う。

【磯田会長】

今選任された副会長2名は、前の席に移動願う。

では、副会長に選任された田中美佳副会長からご挨拶をいただきたい。

【田中美佳副会長】

力足らずのところもあると思うが、皆さんからたくさんのご意見をいただきながら、いい方向に向かっていけるように頑張っていきたいと思うので、ご協力をよろしく願いしたい。

【古澤副会長】

皆さんと気持ちを一つにして、意見の出やすい、そして皆さんが納得のいく、楽しい協議会を目指して頑張っていきたいと思っている。力足らずだが、磯田会長を補佐しながら頑張っていきたいと思うので、よろしく願いしたい。

【磯田会長】

議題【協議事項】(2) 地域協議会の運営について、事務局へ説明を求める。

【石崎係長】

- ・資料「第1回地域協議会の審議事項（直江津区）」に基づき説明

【磯田会長】

では、項目に沿って協議を進める。資料の真ん中の列に、これまでの状況が示されている。

まず、2会議の招集請求に必要な委員数について事務局へ補足説明を求める。

【石崎係長】

- ・会議の招集請求に必要な委員数について説明

【磯田会長】

それでは招集請求に係る人数について、意見はあるか。

【増田委員】

従来どおり、5名以上でよいと思う。

【磯田会長】

ほかに意見はあるか。

(意見なし)

5名でよいか。

(委員同意)

では、5名ということで決定する。

次に、3会議録の確認者について、事務局へ補足説明を求める。

【石崎係長】

- ・会議録の確認者について説明

【磯田会長】

これまでは会長を除く、出席者2名とし、名簿順にお願いしてきたが、意見はあるか。

【増田委員】

会議録の確認とは、録音された音声を基に事務局が会議録を起こすが、発言のままではなく、発言の趣旨をいかしながら言葉を整理して会議録を作るので、その内容が合っているかの確認をするものである。

私は、会議録の確認者は従来のとおりでよいと思う。

【磯田会長】

従来どおり2名で、名簿順でという話があったが、異議なければ拍手をお願いしたい。

(委員拍手)

では早速だが、本日の議事録の確認については、名簿順で、青山委員と稲川委員にお願いする。

引き続き、4会議の座席順について、事務局へ説明を求める。

【石崎係長】

- ・会議の座席順について説明

【磯田会長】

従来どおりでよいか。

(委員同意)

従来どおりの順で決定とする。

5会議の開催日時について。これまでは、第3火曜日を定例日として、基本月1回のペースで会議を開催していた。臨時の、早急に議論しなければいけないもの等が出てきた場合には、日程を調整し決定していた。開催時間は6時半から、おおむね1時間半から2時間ぐらいをめどに会議を開催してきている。6時半というのは、お勤めされている方がおられるので、仕事終わりに来られる時間としてそのように設定をしていた。火曜日については、皆さんの都合で一番いいところと、それから北部まちづくりセンターが、直江津区だけではなく、ほかの区も抱えているので、ほかの区の曜日と重ならないような設定にしていた。

皆さんの中で、例えば第3火曜日で夜は駄目という方がいらっしゃれば、日にちを変えていきたいと思うが、いかがか。

(意見なし)

では、例年どおり第3火曜日午後6時半から、会場は、レインボーセンターを定例とすることでよいか。

(委員同意)

では、そのようにする。

もし都合が悪い、諸事情で日にちが変わるようなことがあれば、その都度、皆さんに連絡をするのでお願いしたい。

7地域協議会だよりの編集方法について、事務局へ補足説求める。

【石崎係長】

・地域協議会だよりの編集方法について説明

【磯田会長】

地域協議会だよりというものを年に3回から5回ぐらい発行している。

前期で編集委員をされた古澤副会長に、どんな業務があるのか等をお話いただきたい。

【古澤副会長】

たよりの原稿案ができた時点でファックスをいただいて、気づいたことを指摘するというものである。市民の皆さんが読みやすいよう専門用語を言い換えて、わかりやすい文面にするなどをしている。編集委員は2人ぐらいで、初めて委員になった方がいいかと思う。

【磯田会長】

まず、編集委員を置くか置かないか、また、置くのであれば、従来どおり2名にするか決めたいと思うが、意見はあるか。

【関澤委員】

従来どおりでいいと思う。

【磯田会長】

今、関澤委員から、従来どおりという意見があったが、ほかに意見はあるか。

(異議なし)

では、編集委員を置き、従来どおり2名と決定する。

内容については、ほぼ事務局が執筆をして、最後に編集委員が意見を言うという形なので、出すタイミングや具体的な内容部分については、ある程度事務局でまとめてもらっている。そういうことから、発行回数は事務局一任でもよいと思う。意見はあるか。

【増田委員】

あらかじめ発行回数を決めるのはあまりいいとは思わない。要は、会議でどういうことをやったかということを知ってもらうのがこのたよりの役割で、場合によっては10回発行ということもありうると思う。特に直江津区は課題がいっぱいあり、1回や2回ではないと思うので、協議会の審議状況に応じて、適宜、適切に発行していただくので良いと思う。

写真を入れて、目を休めるような紙面の工夫など、その辺は新しい委員の皆さんがよくお気づきだと思うので、編集委員を担っていただければありがたいと思う。

【磯田会長】

今の増田委員の意見を踏まえた上で、編集委員の自薦、他薦をお願いしたい。意見はあるか。

【増田委員】

編集委員の任期について、4年間やる方法と、1年交代で、なるべく大勢の人が経験するという方法がある。私は1年交代で、なるべく大勢の人が経験して関わってみることが大切だと思うので、委員の任期は1年ということを提案する。

【磯田会長】

増田委員のたよりに関する意見の中に10回でもいいという話があったが、委員の皆さんの中には月1回ここに出てくるだけでしんどいという方もおられるので、あまりご負担をかけるのもいかがかと思う。今話があったように、1年交代ぐらいでやってみて意見を出していきながら、改善していけばと思う。

では、任期は1年として、まず1年目の編集委員をやるという方は挙手を願う。

【古澤副会長】

自分からは言い出しづらいので指名ではどうか。

【関澤委員】

五智地区の委員も増えたので、直江津から1人、五智から1人がよいと思う。

【磯田会長】

会長指名でよいか。

(委員同意)

直江津代表で、沼波委員いかがか。

【沼波委員】

承知した。

【磯田会長】

五智代表として、小玉委員いかがか。

【小玉委員】

承知した。

【磯田会長】

今年度の編集委員は、小玉委員と沼波委員とする。

8書面による審議について、事務局へ補足説明を求める。

【石崎係長】

- ・書面による審議について説明

【磯田会長】

今までの地域協議会の中で、書面会議は行われたか。

【佐藤所長】

今まで書面の開催はない。

【磯田会長】

今までは、実際には書面会議は行われていないが、意見等はあるか。(意見なし)

これまでどおりでよいと思うが、いかがか。

(委員同意)

では、これまでどおりとする。

次に、9その他、事務局へ説明を求める。

【石崎係長】

- ・委員証について説明
- ・名刺の作成について説明
- ・次回協議会：7月

直江津プライド2021から、昨年度の地域独自の予算事業を活用して作成した『「直江津のランドデザインを描く事業」の実績報告及び直江津まちづくり提言書』の配付依頼があったので、配付している。次回の地域協議会で報告をいただきたいと思っているので、目を通しておいていただきたい。

【磯田会長】

このことについて、会長ではなく、直江津プライド2021の主催者として補足させていただきたい。

この事業は、地域協議会の中で議論してきたことを、市民の皆様に伝え、一緒に考えるということを実践した事業である。どういう地域課題があるのかということ、昨年度の地域協議会の中で議論し、実際にどうしていったらよいかということをつなげてきた事業であり、次回の自主的審議の方向性について考える際に、昨年度までの考え方等について理解を深めていただきたいと思い配付させていただいた。よろしく願います。

このほか、事務局の説明について、質問等はあるか。

【増田委員】

次回の開催は7月頃という説明があったが、今日、地域協議会の役割と委員の役割を改めて説明いただいたが、委員の皆さんで、疑問に思うことなどをフランクに話し合う機会を持つとより理解が進むと思う。

そのほか、この前の地震の関係で、地域協議会として取り組んでいかなければいけないということもあるし、市が進める通年観光について、すでに屋台会館や船見公園の関係については、プロポーザルを実施するような動きもあるので、あまりゆっくりしていると、私たちが意見を言うタイミングを失う恐れがある。

そういうことから考えると、今まで自主的審議事項はこんなことをやってきたということを含めて、話し合う場をもっと早めに持ったほうがいいと思う。できれば6月のうちにもう1回会議を開くように設定してはどうか。直江津区のために、必要ならば月2回でも、場合によっては3回でもやるという覚悟が必要だと思う。日程は、会長、副会長と事務局にお任せするが、この場で皆さんの予定が分かれば、決めていただければいい。

【磯田会長】

第2回を6月に開催してはという意見があった。それについて意見はあるか。

【田中美佳副会長】

交流を持ちたいとは思いますが、皆さん忙しい方もいらっしゃるので、「そんなにあるのだったらちょっと。」と思われる方もいらっしゃるかもしれない。日にちを決めたとしても、都合が良い方は出る、そうでなければ、次のときという柔軟な感じがいいと思う。

【磯田会長】

ほかに意見等はあるか。

【小玉委員】

個人的なことで申し訳ないが、今月中は火曜日が厳しいので、それ以外で考えていた

だきたい。

【磯田会長】

ほかに意見はあるか。

【増田委員】

かなり厳しいように聞こえるが、今までもお互いに遅刻、早退は認めようという申合せでやってきているので、遅刻、早退について、あまり気を使わないで、自由にやっていただければいいと思う。

【佐藤所長】

会議の日程について、事務局では6つの区を担当しており、それらの開催日との兼ね合いもあるので、会長、副会長と相談しながら、会場の都合も見て、日程を調整させていただければと思うが、いかがか。

【磯田会長】

増田委員、それでよいか。

【増田委員】

それでいい。今は皆さんから何曜日は避けてほしいという希望だけを聞いて、その中で調整していけばよいかと思う。

【磯田会長】

小玉委員は、6月の火曜日は都合悪いとのことだが、ほかの方はどうか。

【古澤副会長】

私も含め、各々都合はあると思う。もしよければ、こちらに一任していただいて、欠席の場合は仕方がないと思う。7月16日は決定なので、皆さん空けていただけるかと思うが、急を要するものについては、こちらで決めさせてもらうということかどうか。

(委員拍手)

そういうことで、お願いしたい。

【磯田会長】

事務局と会長、副会長でタイミングを見計らって、なるべく早い時期にという話もあったので、検討させてほしい。もしやるとなれば通知をさせていただく。定例的には、7月16日は確定ということをお願いしたい。

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。